

=====

●○○ INDEX ●○○

【頼り合える社会づくり通信】 no.1 (2019/1/17)

- ◆講演会 「頼り合える社会」をめざして
 - ◆NPO 法 20 周年記念テーマ別学習会 「NPO と協同組合」
 - ◆とく&トーク 地域まちづくりをみんなで語る会
 - ◆市民基金フォーラム 地域のインフラとなる居場所
 - ◆フードドライブ
 - ◆フードバンク活動&支援税制（寄贈食品の全額損金算入）説明会
 - ◆大人のための交流サロン『こもればカフェ』
 - ◆21 世紀かながわ円卓会議シンポジウム
 - ◆海外にルーツを持つ若者とつくる、これからの日本
 - ◆日本フィランソロピー協会 定例セミナー
 - ◆障害福祉と文化芸術の関わりを考える勉強会 “そこにいること”へのまなざし』
 - ◆祝・フリースペースえん 15 周年
 - ◆「かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク」研修会・ネットワーク会議 in 横浜
 - ◆お伝（でん）の会 第 1 回連続講座 共に生きるためのソーシャルワーク
-

【さまざまな催し】

- ・協働・共創スキルアップ道場 ～共に未来をつくるために～
- ・横浜市市民活動支援センターNPO 法人 スキルアップジム
- ・NPO 法人トップマネジメントセミナー
- ・よこはま NPO 労務塾
- ・NPO 法人ブラッシュアップセミナー NPO と 企業 との 協業に向けた準備のススメ
- ・フォーラム 認知症カフェもっともっと IV わたしのための居場所づくり
- ・平成 30 年度 セルフヘルプ実践セミナー
- ・マネジメントの基礎を学ぶ！『女性管理職』育成セミナー
- ・全国ボランティアコーディネーター研究集会 2019
- ・JACEVO 認定コンサルタント養成講座
- ・日本NPOセンター市民社会創造ラボ・第 4 回

- ・東京ボランティア・市民活動センター 地域に根ざす中間支援組織スタッフのための支援力アップ塾ステップアップ編
- ・日本フィランソロピー協会 CSR・社会貢献活動を「伝えるコツ」
- ・日本 NPO センターNPO 夜カフェ「ミッションと想いを一致させる事業評価入門セミナー」
- ・市民社会をつくるボランティアフォーラム TOKYO2019
- ・参加型システム研究所 沖縄問題連続学習会
- ・神奈川ゆめ社会福祉財団 なんとかしよう！子どもの貧困
- ・全国アート NPO フォーラム 2019 in 八戸

【募集】

- ・とびラー募集 東京都美術館×東京藝術大学
- ・パブリックリソース財団 「あい基金」
- ・神奈川ゆめ社会福祉財団 奨学生募集

=====

◎アリスセンターはこれまでの「らびっとにゅうず」に特集のページを加え、テーマと地域により密着し、共有と交流、発信的なスタイルを持った「頼り合える社会づくり通信」を発行します。ご愛読をお願いします。

=====

【頼り合える社会づくり通信】 no.1 (2019/1/17)

=====

◎頼り合える社会づくり通信のスタートにあたって

○アリスセンターでは、2015年11月から2018年までアリスサロンを開催し、様々な分断線（貧困・所得格差、シングルマザー、非正規労働、働き方、ワーカーズコレクティブ、平和、外国籍住民、子ども・若者の居場所）の現状や市民活動の役割等について意見交換を行ってきました。

○2019年1月からは、アリスセンターのネットワークと経験を活かし様々な貧困格差を打開し「共生社会」や「頼り合える社会」づくりに取り組む市民活動、団体間ネットワーク、地域の活動に関する情報を収集・編集して「頼り合える社会づくり通信」として発行していくことにしました。

○現在、各団体、団体間ネットワーク活動など様々な情報が発信されていますが、単発で発

信されていることが多く、様々な活動のネットワーキングが十分に行われず活動がたこつぼ化しがちです。「分断社会」から「頼り合える社会」づくりを推進するためには、多様な団体が相互にネットワーキングし、相互信頼や共感を創造していく必要があり、「頼り合える社会づくり通信」がその一助となればと思っています。また、頼り合える社会づくりを阻害する負の動きについても分かりやすく伝えていきたいと思います。

○情報は、このテーマに取り組んでいる神奈川県内や全国規模で活動して団体や活動をリストアップして定期的に情報収集や取材を行い情報発信していきます。

○リストアップの3つの視点

1 分断線の現状を明らかにする情報※1

2 地域での関係やつながりを創造（再生）する活動※2、

3 市場経済の原理だけで形成されない新しい働き方

○「頼り合える社会づくり通信」は、月1回中旬にメルマガで発行していきます。是非、アリスセンター宛てに情報をご提供いただければと思います。また、転送は自由です。微力ながら「頼り合える社会」づくりに向けて一緒に頑張ってもらいますので、よろしく願いいたします。（アリスセンター理事 鈴木健一）

※1 分断線

1) 貧困・所得格差間 2) 受給者間（教育・福祉・介護・保育等） 3) 世代間（若者と高齢者） 4) 地域間（都会と地方） 5) 雇用者間（正規・非正規） 6) 男女（性差） 7) 入居者間（公営住宅） 8) 国籍（国民・移民・外国籍） 9) 政治意識間（政治的急進主義と穏健寛容派） 10) 市民意識間（他者への無関心と他者への関心、信頼と不信感）

※2 地域での関係やつながりを創造（再生）する活動

1) 地域全般・制度全般、2) まちづくり（弱者の視点からの防災・見守り合い・協働の活動、協議会型住民自治組織、元気な参加型地域づくり・シェアリングエコノミー） 3) 居場所づくりの活動（子ども食堂、無料学習塾、プレイパーク、コミュニティカフェ、フードバンク） 4) 高齢者福祉・介護の活動 5) 障がい者福祉（発達障がいや子育て等の孤立化防止活動、パラスポーツ等） 6) 多世代参加型子育ての活動 7) 外国籍市民との共生の活動 8) アート活動（障害者・地域等との協働等） 9) 子ども・若者・女性の支援 10) 様々なネットワークの活動 11) 市民基金の活動 12) 人権・平和の活動 13) 住宅支援の活動 14) 環境・エネルギーの活動 15) マイノリティ支援の活動（LGBT等）

「頼り合える社会づくり通信」

地域での関係やつながりを創造（再生）する活動

(1) 地域全般・制度全般

◆講演会 「頼り合える社会」をめざして

日時 2019年2月13日(水) 18:30 会場 19:00 講演開始~21:00 終了

講演者 井手英策(慶応義塾大学教授)

場所 茅ヶ崎市勤労市民会館 6階A研修室(茅ヶ崎市新栄町13-22)

資料代 500円

主催 Twinkle(市民活動団体)

問合せ先 080-5536-8096(早川)

◆NPO法20周年記念テーマ別学習会「NPOと協同組合」

地域社会の中での代表的な非営利事業組織として協同組合とNPO法人があります。

協同組合は、長い歴史を持ち、現在も地域社会の中で存在感を示しています

(中略)地域社会においては、社会課題により近い活動を行うNPOや協同組合が連携した、「中規模で、社会課題に近く、事業性のある」試みが多数行なわれることも重要ではないでしょうか。そうした問題意識のもと、茨城県における「地域円卓会議」の取組みや防災の取組みを切り口としながら、協同組合関係者からのお話を伺い考える学習会です。

■日時：2019年1月25日(金) 15:00-17:30

■場所：ちよだプラットフォームスクエア(〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21)

■登壇者：

日本協同組合連携機構 前田健喜氏 / 佐藤憲司氏

全国労働金庫協会 経営企画部主任 滝 康之氏

茨城NPOセンター・コモンズ 代表理事 横田能洋氏

コーディネーター：日本NPOセンター 特別研究員 新田英理子氏

■参加費：1,000円 / ■定員：30人(事前申し込み制)

■主催・問合せ先：NPO法20周年記念プロジェクト

認定NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会、まちぽっと、日本NPOセンター

電話：日本NPOセンター03-3510-0855 /メール：npolaw20th@jnpoc.ne.jp

■申込み：<https://bit.ly/2BuZd2Q>

(2) まちづくり(弱者の視点からの防災・見守り合い・協働の活動、協議会型住民自治組織、元気な参加型地域づくり・シェアリングエコノミー)

(盛況裡に終了) ◆とーく&とーく 地域まちづくりをみんなで語る会

必ず来る大災害！そのとき問われるハマの地域力

□日時：2019年（平成31年）1月14日（月・祝）14:00～16:30

□会場：横浜市民防災センター 訓練室（北側）

□内容：

基調講演

～災害事例から考える 地震発生時のハマの地域活動のポイント～

横浜市立大学国際総合科学部国際都市学系まちづくりコース 准教授 石川 永子氏
共助の事例報告

1) 住宅地の共助の取り組み事例

～備えにつながる、日ごろのお付き合いとふれあい防災訓練～

南瀬谷ニュータウン自治会 会長 網代 宗四郎氏

2) マンションの共助の取り組み事例

～支えあいのつながりによるコミュニティの取組み～

ブリリアグランデみなとみらい管理組合 防災委員長

・ブリリアみらいコミュニティ 会長 松本 道雄氏

3) 企業の取り組み事例

～都筑区東山田における防災の取り組み～

一般社団法人横浜もの・まち・ひとづくり 代表理事 男澤 誠氏

4) 防災ボランティアの取り組み事例

～地域防災ボランティア団体は誰とつながるのか～

港北区災害ボランティア連絡会 会長・国際救急法研究所 理事長
宇田川 規夫氏

第2部 ディスカッション ～ハマの地域力を高めるために～

主催：特定非営利活動法人 横浜プランナーズネットワーク

後援：横浜市総務局、都市整備局（予定）

問合せ先：特定非営利活動法人 横浜プランナーズネットワーク Tel/Fax：045-681-2922

(3) 居場所づくりの活動（子ども食堂、無料学習塾、プレイパーク、コミュニティカフェ、フードバンク）

◆市民基金フォーラム 地域のインフラとなる居場所

□日時 2019年1月26日（土）10時から13時

□内容 講演 「ゆっくりいそげ カフェから始める人を手段化しない経済」

西国分寺 クルミドカフェ店主 影山知明

事例報告 1) 結の樹よってよってけし 2) たんぽぽはうす 3) コミュニティカフェ6
丁目クラブ 4) 宮ノ前テラス

- 場所 新横浜オルタナティブ生活館 B1 (新横浜駅から徒歩約10分)
- 主催 公益財団法人 かながわ生き生き市民基金
- 参加申し込み 問合せ先
e-mail: info@lively-citizens-fund.org
電話 045-620-9044 (お電話に受付は平日の9:00~17:00になります)
詳細については <http://lively-citizens-fund.org/archives/1161> を参照

◆フードドライブ (市民からの食品寄付活動)

- 期間 2019年1月4日から1月31日
- 場所 ユーコープの61店舗で実施
- 主催 公益社団法人フードバンクかながわ (横浜市金沢区富岡東2-4-45)
- 問合せ先 電話 045-349-5803
- 詳細については https://www.fb-kanagawa.com/pdf/tsushin/tsushin_04.pdf

(盛況裡に終了) ◆フードバンク活動&支援税制 (寄贈食品の全額損金算入) 説明会

- 日時: 2019年1月15日 (火) 13時30分~15時
- 会場: 東京ボランティア・市民活動センター会議室 A
(東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ10階)
- 内容: フードバンク活動の紹介、食料品寄贈「全額損金算入」制度 (支援税制) の解説、
食品ロス削減推進法案」の紹介、質疑応答など
- 主催: 認定NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会
- 共催: 一般社団法人全国フードバンク推進協議会
- お申し込み: <https://ws.formzu.net/fgen/S16901505/>

◆大人のための交流サロン『こもればカフェ』

港南台タウンカフェでは、介護予防・生活支援サービス補助事業 (サービス B)として、毎週月曜日、シニア・大人のための交流サロンを開催しています。様々なプログラムをご用意していますので、地域の中でのつながり作りや居場所としてぜひご活用ください。

- 開催日 毎週月曜日 午前の部 10:00~13:00/午後の部 12:30~15:30
- 場所 港南台タウンカフェ
- 参加費 1プログラム 800円~ (ランチ付)
- 申込み プログラムごとの事前申込みが必要です。(店頭・電話・FAX)

[1月プログラム]

- ・ 1/7 (月) 午前 ピアノ演奏
- ・ 1/7 (月) 午後 百人一首
- ・ 1/21 (月) 午前 ラフターヨガ

- ・ 1/21 (月) 午後 牛乳パックの小物入れ
- ・ 1/28 (月) 午前 健康麻雀
- ・ 1/28 (月) 午後 健康麻雀

□問い合わせ港南台タウンカフェ TEL 045-832-3855

<https://www.facebook.com/komorebicafe.kounandai/>

(7) 外国籍市民との共生の活動

◆21世紀かながわ円卓会議シンポジウム

「外国人政策と多文化社会の未来～かながわで共に生きていくために」

□日時：2019年2月24日(日) 13:00～16:00

□会場：神奈川韓国会館 7階多目的ホール

<http://www.mindan-kanagawa.com/about/access/>

横浜駅「きた西口」出口より徒歩5分

□内容

報告：「改定入管法施行と多文化社会の今後」 鈴木江理子氏(国士舘大学教授)
事例紹介(仮題)

・「外国人の社会参加について考える：川崎での取り組みから」

山田貴夫氏(ヘイトスピーチを許さないかわさき市民ネットワーク事務局)

・「市民がつなぐ難民とホスト社会」

渡部清花氏(NPO法人WELgee代表理事)

・「多文化共生教育の視座：マジョリティへの働きかけ」

山根俊彦氏(NPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ[ME-net]理事)

□定員：40名(先着順)2019年2月15日(金)申込み締切

□参加費：無料

□申込み：必要事項をメールまたはFAXでお申し込みください。

【必要事項】・氏名・所属・住所(市町村名までで結構です)・電話・FAX・メールアドレス・

このシンポジウムのことをどこでお知りになりましたか？

○メール：entaku@kifjp.org

○FAX：046(858)1210

□問い合わせ先

TEL：046-855-1821 かながわ国際交流財団(西山・清水)

◆海外にルーツを持つ若者とつくる、これからの日本

-why can't we be friends-

□日時：1月19日(土) 17:00～20:00

□場 所； 日本福音ルーテル東京教会

□参加費； 一般 2,000 円、学生 1,500 円 *ミャンマー料理付き

登 壇；

チョモンスイさん (大学生)

喜屋武 初美さん (カナダの機械工学の大学へ行くため準備中！)

吉山 昌さん (難民起業サポートファンド代表理事)

横田 能洋さん (たすけあいセンター「JUNTOS」)

関野 和寛さん (ルーテル東京教会牧師、牧師 ROCKS)

□お申込： <https://goo.gl/dF8AS3> *要事前申し込み

□主催・NPO 法人まちぽっと、高木仁三郎市民科学基金、難民起業サポートファンド

□問合せ先 NPO 法人まちぽっと・奥田 電話 03-5941-7948

メール okuda@machi.pot.org 詳細については machi-pot.org/ を参照

◆日本フィランソロピー協会 第 352 回 定例セミナー

「外国人受け入れ新政策～日本の未来はどう変わるのか?～」

□講師

毛受 敏浩 (めんじゅ としひろ) 氏 公益財団法人 日本国際交流センター 執行理事

□日時： 2019 年 1 月 17 日 (木) 18:00 (開場) 18:30~20:30 (セミナー)

※セミナー終了後、近隣にて、希望者による懇親会もあります。(実費)

□会場： 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 (〒160-8338 東京都新宿区西新宿 1-26-1 新宿本社ビル 38 階)

<交通アクセス>

JR 線、京王線、小田急線、丸の内線、都営新宿線、西武新宿線新宿駅,または大江戸線新宿西口駅下車、西口より徒歩 10 分

<http://www.sjnk.co.jp/company/outline/map/>

□参加費：当協会会員 2,000 円／一般 5,000 円／学生 1,000 円

□支払方法：当日会場受付にてお支払ください。

□申込方法

下記リンク先の申込みフォームをご利用ください。

<https://www.philanthropy.or.jp/seminar/352/>

□【お問い合わせ】

公益社団法人 日本フィランソロピー協会 落合 (おちあい)

TEL： 03-5205-7580 FAX：03-5205-7585

Email: ochiai@philanthropy.or.jp

(8) アート活動（障がい者・地域等との協働）

◆障害福祉と文化芸術の関わりを考える勉強会 “そこにいること”へのまなざし』

第3回 地域のつなぎ手、担い手

□日時：2019年1月23日(水)19時～20時30分

□会場：S Tスポット

□内容：ゲスト：原島隆行(六角橋地域ケアプラザ 地域交流コーディネーター)
中村麻美(地域活動支援センター ひふみ 施設長)

神奈川区の六角橋地域ケアプラザでは区内のさまざまな施設や住民といっしょに、障害の有無や世代を超えて地域をつくる活動を行っています。そこでコーディネーターとして地域に点在するひと・もの・ことをつないでいる原島さんと、同じ神奈川区で精神障害を抱える方の地域生活を支えている中村さんにお話をうかがい、施設の枠にとらわれない協働を生み出す方法について考えを深めます。

第4回 障害者と芸術鑑賞

□日時：2019年2月20日(水)19時～20時30分

□会場：S Tスポット 〒220-0004 横浜市西区北幸1-11-15 横浜 ST ビル B1

各線「横浜」駅から徒歩10分。

□ゲスト：林建太(視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ 代表)
関淳一(横浜美術館)

□参加費 各回500円。

□対象

障害者との文化芸術活動に取り組んでいる、もしくは取り組みたいと考えている方。主に文化施設や芸術団体に関わる方を想定していますが、ご興味をお持ちの方はどなたでもご参加いただけます。

□定員

各回20名(先着順、要事前申込)

□主催・問合せ先 認定NPO法人 S Tスポット (TEL:045-325-0411 FAX:045-325-0414 E-MAIL:mail@stspot.jp)

□申込方法

件名を「勉強会参加」として、以下の内容をこちらのメールアドレス(communit@stspot.jp)までお送りください。こちらからの返信をもってご予約完了となります。

(1)お名前(ふりがな) (2)ご所属(あれば) (3)参加ご希望の回 (4)当日連絡用の電話番号

(5)メールアドレス (6)この勉強会に期待すること※短くて構いませんので、ぜひお知らせください。出来る限り内容にも反映させていきたいと思ひます。

(9) 子ども・若者・女性の支援

◆祝・フリースペースえん 15周年

たまりばフェスティバル 2018 一期一えん

□日時：2019年2月17日(水)開場 13:30 開演 14時～17時30分

□会場：川崎市男女共同参画センター「すくらむ21」

「東急溝の口」「JR 武蔵溝の口駅から徒歩約10分。

□主催 認定NPO法人 フリースペース「たまりば」(044-833-7562)

□入場料 大人1300、ミドル(中学生から500、子ども100、協力券1300)

□内容 「えん」で行っている講座や自主企画など一年間を通じて行ったきた活動発表の場。

楽器演奏、創作劇、歌、ダンスなど盛りだくさん。子供たちが中心で運営・企画

□主催・問合せ先 認定NPO法人 フリースペース「たまりば」(044-833-7562)

(フリースペース「たまりば」は2018年12月13日付で認定NPO法人として認定されました。)

(10) 様々なネットワークの活動

◆「かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク」研修会・ネットワーク会議 in 横浜
まちで子どもと共に“生きる”ということ～多様な背景を持つ子どもたちの暮らし～

□日時：2019年1月21日(月)13時～16時30分

□会場：万国橋会議センター(横浜市中区海岸通4-23)

駐車場なし

みなとみらい線「馬車道」駅6番出口から徒歩4分

JR・市営地下鉄「桜木町」駅から徒歩10分

□対象：生活困窮者や課題を抱える人たちへの支援を実施している

NPO、自治体、関係機関など

□定員：100名程度

□参加費：無料

□内容

かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク活動報告

第1部 研修会

コーディネーター

・長谷川 俊雄さん(白梅学園大学教授・社会福祉士・精神保健福祉士)

報告

・石井 淳一さん(ことぶき学童保育・ことぶき青少年広場 職員)

・鈴木 健さん（川崎市ふれあい館 職員）

第2部 ネットワーク会議（グループディスカッション参加者同士の意見交換

主催：神奈川県・かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク

（かながわボランティア活動推進基金 21 協働事業負担金対象事業）

申込先： 要事前申込。

かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク 川崎事務局

特定非営利活動法人フリースペースたまりば

TEL 044-833-7562 FAX 044-833-7534

E-mail : freespace@tamariba.org

FAX・E-mail にてお申込みください。

問合せ先：特定非営利活動法人フリースペースたまりば

TEL 044-833-7562 FAX 044-833-7534

E-mail : freespace@tamariba.org

◆お伝（でん）の会 第1回連続講座 共に生きるためのソーシャルワーク

日時：2019年1月31日（木）19時から21時

テーマ：地域をつなぎ、地域で学ぶ「あおいけあ」

講師：加藤忠相（株式会社あおいけあ代表取締役）

司会 井手英策

定員 40名（先着順）

参加費 1000円

場所 横浜中央 YMCA（横浜市中区常盤町1-7）関内駅（JR、ブルーライン）より徒歩3分、日本大通駅（みなとみらい線）より徒歩5分

主催 お伝の会（井手英策（慶応義塾大学教授）の呼びかけに神奈川県内で活躍している高齢者福祉、障害者福祉、多世代が集う居場所づくり、子育て支援、小規模多機能自治、多文化共生とそれぞれの分野で活躍する人たちが学びあう場）

申込方法 氏名・所属を明記のうえ下記メールにて申込みください

詳細については、oden.no.kai.mail@gmail.com へ問合せください。

=====

【さまざま催し】



協働・共創スキルアップ道場

～共に未来をつくるために～

【1回目】

日時：2019年2月25日（月）18:00～20:30

内容：○協働・共創の意識作り

○ボードゲームを通して、協働・共創を体験する

講師：溝呂木俊介氏

【2回目】

日時：2019年3月8日（金）18:30～20:30

内容：○横浜市の協働・共創の歴史を紐解く

○事例紹介（2～3事例）

（株）太陽住建

アオバ住宅社 斎藤瞳氏

※その他の方は調整中

○アイデアプラン作成トレーニング

【3回目】

日時：2019年3月20日（水）18:30～20:30

内容：○アイデアプラン実現に向けて、お披露目会

○演習：グループワーク・講評

会場：桜木町・みなとみらい周辺を予定しております。

※お申し込み頂いた方に、個別にお知らせします。

定員：25名

参加費：無料

対象：協働により地域（社会）課題解決やまちの魅力づくり等に取り組みたい団体・組織

申込方法：FAX・メール・申込フォームのいずれかより、必要事項をご記入のうえお申込ください。

申込記入事項：【1】お名前、【2】ご所属、【3】TEL、【4】FAX、【5】Eメール、【6】参加動機

申込連絡先：FAX：045-223-2888、E-mail：daihyo@hamacen.jp

問合せ：横浜市市民局市民活動支援課

TEL：045-227-7915 FAX：045-223-2032

MAIL：sh-shiminkatsudo@city.yokohama.jp

主催：認定NPO法人市民セクターよこはま、横浜市市民局市民活動支援課、横浜市政策局共創推進課

●-----

NPO 法人 スキルアップジム

これだけはおさえておきたい NPO 法人の運営の基本と事務手続き

【2019.1.30(水) 13:30-17:15(受付 13:00~)】

- 会場：横浜市市民活動支援センター4階 ワークショップ広場
- 対象：NPO 法人の法人事務を担当する方、理事など(定員 30 名)
- 申込み：専用フォームからお申し込みください
- 受講料：1,000 円
- トレーナー：吉原 明香(認定 NPO 法人市民セクターよこはま 理事・事務局長 横浜市市民活動支援センター センター長)、加世田 恵美子(認定 NPO 法人市民セクターよこはま 理事・総務担当 にしく市民活動支援センター センター長)、関尾 潤(認定 NPO 法人市民セクターよこはま 総会事務担当 横浜市市民活動支援センター 副センター長)
- 主催：横浜市市民活動支援センター(管理運営:認定 NPO 法人市民セクターよこはま)
- お問合せ：横浜市市民活動支援センター(担当:関尾) 横浜市中区桜木町1-1-56 クリーンセンタービル5階 ☎9742; 045-223-2666 (FAX: 045-223-2888) ☎9993; daihyo@hamacen.jp

●-----

NPO 法人トップマネジメントセミナー

NPO 法人を運営するために知っておきたい3つのこと

【2019.2.14(木) 13:15~17:30(受付 13:00~)】

- 会場：wework(みなとみらい線「みなとみらい駅」徒歩2分。申込者に詳細をご案内します。)
- 対象：NPO 法人の経営全般に関わっている方(理事・監事、事務局長等)
- 定員：18名(1団体複数の参加をお勧めします)
- 受講料：2,000 円
- 申込み：専用フォームからお申し込みください
- 講義・演習「NPO 法人の財務諸表の読み方」

Program 1 (13:35~15:15)

<講師> 宮崎 敦史(税理士) 特定非営利活動法人税理士による公益活動サポートセンター NPO 等支援部

- 事例「ミッション達成に向けた継続的・発展的な法人経営~事業の組立と財源確保~」

Program 2 (15:25~16:50)

<事例発表> 阿部 真紀 認定 NPO 法人エンパワメントかながわ 理事長

吉原 明香 認定 NPO 法人市民セクターよこはま 理事・事務局長 横浜市市民活動支援センターセンター長

■講義「NPO 法人における組織ガバナンス（統治）の具体的な方法」

Program 3（16:50～17:25）

講師：関尾 潤 認定 NPO 法人市民セクターよこはま 横浜市市民活動支援センター副センター長

■ 主催：横浜市市民活動支援センター（管理運営：認定 NPO 法人市民セクターよこはま）

■ お問合せ：横浜市市民活動支援センター（担当：関尾） 横浜市中区桜木町 1-1-56 クリーンセンタービル 5 階 ☎9742; 045-223-2666（FAX：045-223-2888） ☎9993; daihyo@hamacen.jp



よこはま NPO 労務塾

【2019.2.20（水） 10:00～16:00（受付 9:30～）】

■ 会場：帆船日本丸・横浜みなと博物館 訓練センター 第3教室

■ 対象：NPO 法人で人事労務を担当する方・理事など（定員 30 名）

■ 申込み：専用フォームからお申し込みください

■ 受講料：2,000 円（1 日も半日も同額となります）

■ 内容：はじめに労務の考え方や全体像を知り、さらに具体的な管理の仕方や必要な手続きを学んでいきます。労務が初めての方、更に整備していきたい方、労務管理に必要なことがわかります！

●午前の部／10:00～12:00 「労務管理の全体像」編（120 分 ※10 分間の休憩を含む。）

●午後の部／13:15～16:00 「労務管理のポイント」編 13:15～14:15（60 分）

「こんな時どうする!? ケース検討」編 14:30～15:45（75 分）

専門アドバイザー派遣の他、当センター事業のご紹介 15:45～16:00

■講師：平塚 綾子 氏 特定社会保険労務士

■ 主催：横浜市市民活動支援センター（管理運営：認定 NPO 法人市民セクターよこはま）

■ お問合せ：横浜市市民活動支援センター（担当：嶋田） 横浜市中区桜木町 1-1-56 クリーンセンタービル 5 階 ☎9742; 045-223-2666（FAX：045-223-2888） ☎9993; daihyo@hamacen.jp



NPO 法人ブラッシュアップセミナー NPO と 企業 との 協業 に向けた 準備 の ススメ

【2019.3.4（月） 13:15～17:30（受付 13:00～）】

- 会場：wework（みなとみらい線「みなとみらい駅」徒歩2分。）
- 対象：NPO法人で事業を統括している立場の方（理事、事務局長等）
- 申込み：専用フォームからお申込みください
- 定員：18名
- 受講料：3,000円 ★終了後、ミニ懇親会を開催します（任意参加）
- 内容：テーマ別セッション
 - セッション1 企業から見たNPOの価値や魅力 堀口 賞一 氏、本田 竜也 氏
 - セッション2 NPO法人から企業へのアプローチの実践 永岡 鉄平 氏
 - セッション3 協業における契約について 石橋 京士 氏
 - 全体フリートーク<コーディネーター> 吉原 明香 認定NPO法人市民セクターよこはま理事・事務局長
- 主催：横浜市市民活動支援センター（管理運営：認定NPO法人市民セクターよこはま）
- お問い合わせ：横浜市市民活動支援センター（担当：関尾） 横浜市中区桜木町1-1-56 クリーンセンタービル5階 ☎9742; 045-223-2666（FAX：045-223-2888） ☎9993; daihyo@hamacen.jp

●-----
フォーラム 認知症カフェもっともっ IV わたしのための居場所づくり
【2019年3月15日（金） 10:30～15:45】

日時：2019年3月15日（金） 10:30～15:45 受付 10:00～

会場：横浜情報文化センター 6階ホール（横浜市中区日本大通11番地）

プログラム：

10:30～12:00

○「地域の中で役割を持つこと」

小塚 秀忠さん（世田谷地域共生のいえ 岡さんのいえ TOMO 見守り隊員）

○「大倉山ミエルから広がる地域のつながり」

鈴木 智香子さん（NPO法人街カフェ大倉山ミエル代表）

○「桂台カフェ・NFの会と地域ケアプラザの取組み」

渡辺久江さん（桂台カフェ代表）、桂台地域ケアプラザ 職員

13:00～15:00

○「旅のことは研究会 in 横浜」

岡田 誠さん（認知症フレンドリージャパン・イニシアチブ 共同代表理事）

15:00～15:45 振り返りワークおよび市民セクターよこはま事業に関するご案内

申込方法：FAX・メール・申込フォームのいずれかより、必要事項をご記入のうえお申込ください。

申込記入事項：【1】お名前、【2】ご所属、【3】活動地域、【4】E-mail、【5】FAX、【6】電話番号、

【7】当日ボランティア可能

申込連絡先：FAX：045-222-6502、E-mail：yamadam@shimin-sector.jp

問合せ：認定NPO法人市民セクターよこはま 担当 山田 yamadam@shimin-sector.jp
045-222-6501

主催：認定NPO法人市民セクターよこはま



平成30年度 セルフヘルプ実践セミナー

セルフヘルプ・グループに学ぶ当事者のもつチカラ

日時：平成31年3月1日(金) 13時～16時30分

会場：フォーラム（男女共同参画センター横浜 ホール）横浜市戸塚区上倉田町 435-1 戸塚駅より徒歩約5分

内容：

●はじめに

●当事者グループのリレートーク

どんな活動の中で、「当事者のもつチカラ」が発揮されているのでしょうか？お話を聴いてみましょう。

お話しするグループ

◇ギャンノンみなと横浜グループ：ギャンブルの問題に影響を受けた家族・友人の集まり

◇ママエスティーム：様々な悩み、不安を抱える育児中のお母さんと対象としたグループ

◇ばたふらい(Butterfly)：心の病（精神障害）を持つ方が、地域によりよく参加・交流・就労できるよう活動するグループ

◇(N)アレルギーを考える母の会：アレルギー本人・家族の会

●ミニ講義「セルフヘルプ・グループの持つチカラ」

講師：堀越由紀子氏(東海大学教授)・白井正樹氏(神奈川県立保健福祉大学教授)

対象：

●相談援助に関わる方

●行政関係者の方

●対人援助技術を学ぶ学生

●テーマに関心のある方

主催：社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 共催：男女共同参画センター横浜

申し込み方法：

定員 100名、締切は2019年2月22日(金) 1名前 2所属(ある方のみ) 3連絡先(電

話、FAX、e-mail のいずれか)を、ファクシミリ、e-mail またはお電話にて事務局にお知らせください。

問い合わせ：神奈川県社会福祉協議会 地域福祉推進部 地域福祉推進担当 (かながわボランティアセンター) TEL:045-312-4815 FAX:045-312-6307 E-mail:kvc●knsyk.jp (●を@に変更して送信してください)



マネジメントの基礎を学ぶ！『女性管理職』育成セミナー

日程：平成31年2月23日、3月2日、9日 (各土曜、10時から16時、全3回)

内容：3回のプログラムを通して、管理職に求められる役割とスキル、業務や部下のマネジメントの基礎を実践的に学ぶセミナーを開催します。

1日目 2月23日(土曜) 管理者の役割とスキル — 管理者に求められる役割、マネジメントとリーダーシップ、問題解決

2日目 3月2日(土曜) 業務のマネジメント — 段取り力・タイムマネジメント、ロジカルコミュニケーション

3日目 3月9日(土曜) 部下のマネジメント — チーム力向上、育成に繋がる「ほめかた・注意のしかた」、ハラスメントとメンタルヘルス

講師：鎌倉人材育成ラボ 代表 柳生 幸枝 氏

対象・定員：総就業年数10年以上で、管理職を目指す女性や、新任の女性管理職等30名程度(申込み多数の場合は抽選)

受講料：1,500円

会場：かなテラス(神奈川県立かながわ男女共同参画センター)(藤沢市鶴沼石上2-7-1)

託児：無料、1歳から就学前児童、2月10日(日曜)までに要予約(別途おやつ代150円/回)

申込み方法：平成31年2月10日(日曜)までに、電話または「受講申込みフォーム(e-kanagawa 電子申請サイト)」より、お申し込みください。

申込み・問合せ：かなテラス(神奈川県立かながわ男女共同参画センター) 参画推進課
〒251-0025 藤沢市鶴沼石上2-7-1 電話：0466-27-2117

主催：かなテラス(神奈川県立かながわ男女共同参画センター)、共催：横須賀市、藤沢市



全国ボランティアコーディネーター研究集会2019

JVCC2019 京都

大会テーマ：ボランティアはコマじゃない

今こそレジリエンス（しなやかさしたたかさ）が試される！

日程：2019.3.2(土), 3.3(日)

会場：大谷大学（京都市北区）

参加費：一般 12,000 円、JVCA 正会員・準会員 10,000 円（WEB 早割は各々 1,000 円割引）

※別途交流会参加者 3,500 円（希望者のみ）

定員：250 名 ※締切前に定員に達した場合は、その時点で締切とさせていただきます。

申込締切：2019 年 2 月 1 日（金）≪17:00 必着≫ WEB 早割は 1 月 25 日（金）締切

主催：全国ボランティアコーディネーター研究集会 2019 京都 実行委員会

認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会（JVCA）

共催：大谷大学

問い合わせ：全国ボランティアコーディネーター研究集会 2019 実行委員会事務局（NPO 法人ユースビジョン内）〒603-8142 京都府京都市北区小山北上総町 43-4 相井ビル 2 階
TEL.075-286-3400 FAX.075-320-3714 E メール vcc2019@youthvision.jp ウェブサイト
<https://jvcc2019.jimdofree.com>

●----- JACEVO 認定コンサルタント養成講座

資格認定の条件を満たされた方は JACEVO 認定コンサルタントの認定証を交付します。

社会的インパクト評価のツールとしてロジックモデルが注目されています。ロジックモデルはいろいろありますが、セオリーオブチェンジ＝ツリー型ロジックモデルは、評価のためだけのツールでなく、社会をよきよきするためのツールです。

そして評価にも活用できるツールです。社会性重視の経営支援、起業支援に活用頂けます。

社会性重視の経営は複数の事業による収益構造で社会的価値と経済的価値を創出するビジネスモデルとなることが多いと思われます。

そこでビジョン達成のためにどのような事業群を実践するのか、ビジョン達成への道のり、その相乗効果等を事前評価するためのツリー型ロジックモデル。ひとつひとつの事業をどのように稼ぐのかもらうのか考えるツールであるビジネスモデルシート。

このふたつのシートの作成支援ができる人材養成講座を行います。

また、ご自身の組織の中期戦略作成にもご活用ください。

代表理事の後房雄の講義をたっぷりとお聞きください。

資格認定の条件を満たされた方は JACEVO 認定コンサルタントの認定証を交付します。

社会的インパクト評価のツールとしてロジックモデルが注目されています。ロジックモデルはいろいろありますが、セオリーオブチェンジ＝ツリー型ロジックモデルは、評価のた

めだけのツールでなく、社会をよいよくするためのツールです。

詳しくはHPをご覧ください。

●東京会場

日時

2月2日(土) 9:30~18:00

3日(日) 9:30~18:00

会場 パシオン TOKYO

東京都大田区大森北2-3-15

●名古屋会場

日時

2月9日(土) 9:30~18:00

10日(日) 9:30~18:00

場所

プラザなごや

名古屋市北区平安1-9-22

受講料

30,000円(税抜き)

定員

10名(先着順)

<http://jacevo.jp/news/2018/12/2375.html>



市民社会創造ラボ・第4回

市民社会創造ラボ・第4回

■日時 2019年1月24日(木) 18:30~20:30

■会場 日本NPOセンター会議室(千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル地下1階会議室)

■ゲスト 松田妙子さん(NPO法人せたがや子育てネット代表理事)

■テーマ 子ども子育てを支える地域のプラットフォーム ~支援の受け手が支え手にもなる社会~

■対象・定員 テーマに関心のある方は、どなたでもご参加いただけます。

定員20名 *先着順/定員になり次第に締め切り

■参加費 2,000円(日本NPOセンターの正会員は1,500円) *当日受付にて現金

でお支払いください。

■お申込み 以下のフォームよりお申し込みください。

<https://goo.gl/Guo3EV>

《ゲスト紹介》

松田妙子さん (NPO法人せたがや子育てネット代表理事)



東京ボランティア・市民活動センター

地域に根ざす中間支援組織スタッフのための支援力アップ塾ステップアップ編



東京ボランティア・市民活動センター

地域に根ざす中間支援組織スタッフのための支援力アップ塾ステップアップ編

「～思いをカタチにするまでのストーリー～市民×コーディネーターが語る！」の開催について

- 1 開催日程 平成31年2月20日(木) 13:30～16:45
- 2 会場 府中市市民活動センター プラッツ6F 第5会議室
(東京都府中市宮町1丁目100 ル・シーニュ/最寄は京王線府中駅)
- 3 内容 「～思いをカタチにするまでのストーリー～市民×コーディネーターが語る！」

1組目：傾聴いたばし 新井淑子さん × いたばし総合ボランティアセンター 秋山由佳子さん

傾聴講座修了後、その受講生たちが結成した”傾聴いたばし”は、今では自ら、傾聴講座を企画し運営しています。“傾聴いたばし”の新井淑子さんと、活動の立ち上げから支援する、いたばし総合ボランティアセンターの秋山由佳子さんにお話を伺います。

2組目：NPO 法人ぬくぬくハウス 温井克子さん × 一般財団法人世田谷トラストまちづくり 山田翔太さん

自宅の一部を地域にひらいて活用し、誕生した多世代の集う居場所「ぬくぬくハウス」。
ぬくぬくハウスの運営者でありオーナーの温井克子さんと、開設前から支援する、世田谷トラストまちづくりの山田翔太さんにお話を伺います。

※詳細はサイトをご覧ください。 <https://www.tvac.or.jp/special/im/stepup/>

不明点は下記問合せ先までお問合せください。

4 参加費 3,000円

5 定 員 30名

6 申込締切 平成31年2月14日(金)

※WEBサイト <https://www.tvac.or.jp/special/im/stepup/> 内の入力フォーム、または申込み用紙による FAX でお申し込みください。

7 共 催 府中市市民活動センター プラッツ

8 主催・問合せ先

東京ボランティア・市民活動センター (齊藤、相澤、熊谷、朝比奈)

TEL: 03-3235-1171 FAX: 03-3235-0050 E-mail: im@tvac.or.jp



日本フィランソロピー協会

CSR・社会貢献活動を「伝えるコツ」～参加意欲を高める訴求力強化ワークショップ～

第353回 定例セミナー

「CSR・社会貢献活動を「伝えるコツ」～参加意欲を高める訴求力強化ワークショップ～」

<https://www.philanthropy.or.jp/seminar/353/>

2月のセミナーは自社のCSRや社会貢献活動を効果的に伝える「グッと来るキャッチコピー」

について考えます。株式会社電通が、社会貢献活動の一環としてNPOのコミュニケーション

力の向上を目指し行なうセミナープログラム「伝えるコツ」。自社の社会貢献活動のアピール

力を強化し、共感を呼び、参加意欲を高め、活動を広げるにはどう伝えたらいいか。

同プログラムの紹介の後、企業の担当者向けにアレンジした講義とミニワークショップを実施いただきます。多くの方のご参加をお待ちしております。

■テーマ:

「CSR・社会貢献活動を「伝えるコツ」～参加意欲を高める訴求力強化ワークショップ～」

■ご登壇者:

伊藤 公一 (いとう こういち) 氏

株式会社電通九州 チーフクリエイティブオフィサー

金子 花菜 (かねこ はな) 氏

株式会社電通 総務局 社会貢献部 コミュニケーションデザイナー(「伝えるコツ」担当)

■日時: 2019年2月15日(金) 15:30(開場) 16:00~18:00(セミナー)

※セミナー終了後、近隣にて、希望者による懇親会もあります。(実費)

■会場: 味の素株式会社 本社 B棟2階21号会議室

(〒104-8315 東京都中央区京橋 1-15-1)

<交通アクセス>

交通アクセス： JR「東京駅」 八重洲中央口（徒歩 10 分）

地下鉄銀座線「京橋駅」 6 番出口（徒歩 5 分）

都営地下鉄「宝町駅」 A-8 出口（徒歩 1 分）

地下鉄日比谷線「八丁堀駅」 北口（徒歩 10 分）

■参加費：当協会会員 2,000 円／一般 5,000 円／学生 1,000 円

■支払方法：当日会場受付にてお支払ください。

※領収書は受付にてご用意しています。

※ご請求書発行、お振入金ご希望の方は、申込フォームのメッセージ欄にその旨お書き添えください。

■申込方法・詳細：

下記リンク先の申込みフォームをご利用ください。

※お二人以上で参加の場合も、お一人ずつお申し込みください。

<https://www.philanthropy.or.jp/seminar/353/>

【お問い合わせ】

公益社団法人 日本フィランソロピー協会 落合（おちあい）

TEL： 03-5205-7580 FAX：03-5205-7585

Email: ochiai@philanthropy.or.jp

●-----
日本 NPO センター

NPO 夜カフェ「ミッションと想いを一致させる事業評価入門セミナー」

NPO 夜カフェ「ミッションと想いを一致させる事業評価入門セミナー」

<https://www.jnpoc.ne.jp/?p=17019>

NPO にも評価を、と言われるこの頃。「レッテルが張られてしまう」「表現がうまい団体だけ活用できる」といった、ネガティブな発想での評価という言葉が先立ちます。でも本当の意味での評価はもっとポジティブで、NPO の想いを具体的な事業に落とし込んでいく優れた技法なのです。

また、日々業務の山と向き合っている NPO が貴重な時間を使って事業を評価をするには、自分たちの思いと活動をしっかり言葉にできたと感じる評価でなければ走り切れません。

このセミナーでは、講義とワークを通じ「そもそも、評価って何？NPO はどう評価に向き合えばいいの？」という基本的な問いをまず考えます。

やらされる評価ではなく主体的に評価を活動に役立てていくにどうすればいいのか、NPO の評価のあり方を考えてきた講師からヒントを提供します。

事業評価が持つ力と限界をきちんと見極め、あなたの活動に役立つ評価のあり方を考えましょう。

NPO の皆さんはもちろん、「NPO と評価」のキーワードにピンときた皆さんを歓迎します。

■開催概要

NPO 夜カフェ「ミッションと思いを一致させる事業評価入門セミナー」

日 時：2019 年 1 月 28 日(月)18:30～20:30 (18:00 受付開始)

場 所：府中市市民活動センター プラッツ

(府中市宮町一丁目 100 番地 ル・シーニュ 6F)

・京王線府中駅から徒歩 1 分 (駅直結)

・JR 南武線、武蔵野線府中本町駅より徒歩 10 分

*会場は飲食自由です。施設内で購入したり持ち込んだりした軽食等を取りながらの参加も OK です。

参加費：無料

対 象：NPO 等の方、テーマに関心のある方はどなたでも

定 員：30 名 (先着順)

主 催：府中市市民活動センター、日本 NPO センター

*本セミナーはトヨタ財団の助成を受けた「NPO 事業評価実践のための研修プログラム開発」の一環として実施します。

*終了後に交流の場を設けます。お時間がある方はぜひご参加ください。会費はお一人につきワンコイン (500 円) です。

■お申し込み

以下のフォームからお申し込みください。

<https://goo.gl/2FVEsc>

申込締切：1 月 24 日(木)

■内容

1. そもそも、事業評価って何？
2. 事業評価にできることは何だろう
3. 事業評価のステップ&NPO の評価のあり方とは
 - ・概説「事業評価の基本ステップ 10」
 - ・NPO の評価のあり方…役立つ点と注意点
4. 地域の評価リソースマッピング
5. 質疑応答、講師コメント
6. 事業評価のお役立ち情報

*内容は若干変更される可能性があります。

■講師紹介

今田 克司 (いまた かつじ)

日本 NPO センター 副代表理事

高橋 義博 (たかはし よしひろ)

ボランティアコーディネーター、産業カウンセラー(手話対応可)

NPO 事業評価コーディネーター(若葉マーク)※

※NPO 事業評価コーディネーターとは

日本 NPO センターの「NPO 事業評価実践のための研修プログラム」では、地域レベルで NPO が事業評価を自分たちのミッション達成や組織基盤強化に活用できるように、地域のリソースを上手に利用するコーディネート役として、事業評価コーディネーターの育成を実施しています。

■お問い合わせ

・内容等については

認定特定非営利活動法人日本 NPO センター

担当：清水

E-mail: evaluation@jnpoc.ne.jp Tel:03-3510-0855

・会場・施設については

府中市市民活動センター プラッツ

担当：高橋

E-mail: y-takahashi@fuchu-platz.jp Tel:042-319-9703

市民社会をつくるボランティアフォーラム TOKYO2019

イロドリある未来へ～わたしから踏み出す一歩～

日時：2019年2月8日(金)～10日(日)

※1分科会のみ参加も可能です。

会場：飯田橋セントラルプラザ ほか

アクセス <https://www.tvac.or.jp/special/vf2019/access>

参加費：2,000円(1分科会のみ参加の場合は1,000円)

※学生・障害者割引あり

申込方法

(1)ボランティアフォーラムホームページ「申し込みフォーム」からのお申込み

<https://www.tvac.or.jp/special/vf2019/>

(2)FAX または郵送でのお申込み

https://www.tvac.or.jp/res/attach/yoko/39767_2.pdf

主催:東京ボランティア・市民活動センター

企画運営:市民社会をつくるボランティアフォーラム TOKYO2019 実行委員会

後援:東京都

特別協賛:株式会社ガイア、株式会社三菱 UFJ 銀行、生活協同組合パルシステム東京、中央ろうきん社会貢献基金、トヨタ自動車株式会社

協賛:NEC ネットエスアイ株式会社、NPO 法人モバイル・コミュニケーション・ファンド、公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団、公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団、東京都生活協同組合連合会

協力:ペルノ・リカール・ジャパン株式会社

お問合せ・お申込み先

東京ボランティア・市民活動センター フォーラム担当 (谷口、阿部、相澤)

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸 1-1

TEL:03-3235-1171 FAX:03-3235-0050

URL:<http://www.tvac.or.jp/>

「市民社会をつくるボランティアフォーラム TOKYO」は、私たちの暮らしに関わるさまざまな社会課題に焦点をあて、それを共有し、私たち市民にできることを考えていくためのイベントです。

今回は、変わりゆく時代に見えてきた社会課題について、多くの人たちと対話する場として分科会を企画してきました。

テーマは「イロドリある未来へ～わたしから踏み出す一歩～」。対話を通して気づきを得て、新たな一歩を踏み出す。

それが一人ひとり輝く彩りある未来につながっていく、そんな想いがこのテーマにこめられています。

2月8日(金)

- ・人生100年、二毛作ライフで生き生き生活!
- ・日本に難民?～難民支援から人権を考える～
- ・ボランティア・市民活動センターは未来をひらく!?
- ・東京2020オリンピック・パラリンピックを一人ひとりのレガシーにするために

2月9日(土)

- ・一すべての子どもが輝ける未来へー 子どもの性同一性障害
- ・多様に広がる「地域の居場所」

・福祉の最先端はここまで来ている！ ～「超福祉」の視点から最新の福祉のテクノロジーやデザインの動向を学ぼう～

- ・海にあふれるプラスチック ～生活ごみからマイクロプラスチックまで～
- ・映画『いのちの深呼吸』上映会&『生と死の体験旅行』ワークショップ
- ・フィールドワーク 阿波おどり大解剖！～地域をつなぐ要素を探る～
- ・連続かつ広域な自然災害の時代に ～報道されない被災地のいま～
- ・「子ども食堂」の魅力 食から子どもを支える、繋がる ～社会と子どもが出逢う場所～
- ・キャリア×NPO ～キャリアとして社会貢献していきたい若者をどう支えるか～
- ・人と人がつながる「協同組合」の強い絆 ～暮らしの課題を解決するために私たちが

知っておきたいこと～

- ・難病当事者と語る“働く”ヒューマンライブラリー
- ・途上国から学ぶ地域づくり
- ・話そうカフェ IRODORI 《出入り自由》

2月10日（日）

- ・地域にふれる第一歩 ～体験だけで終わってない？ホントの福祉教育について考えよう

～

- ・子どもの権利条約から30年 ～子どもと大人が共存する豊かな地域～
- ・～持続可能な社会を目指して～ SDGsの取り組みにおける学生ボランティアの可能性を探ろう！

- ・私たちが求める地域のカタチ ～地域包括ケアシステムを超えて～
- ・助成金は「想い」もつなぐ ～出し手と受け手の「幸せな出会い」のために～
- ・困っている人に声をかける勇気 ～ヘルプマークを見かけたなら～
- ・あなたも教育の担い手になろう ～「開かれた教育を考える」～
- ・対話から始まる市民発の民主主義 ～シリアの事例から考える～
- ・若者が動き出すボランティアの受入れ方
- ・芸術のバリアフリー 音声ガイドをつくろう！
- ・音と光がない世界「盲ろう者の生活を知る」
- ・《クロージング企画》本当のボランティアって何だ？！

各分科会の詳細はこちら

ボランティアフォーラムホームページ：<https://www.tvac.or.jp/special/vf2019/>

●-----
参加型システム研究所

沖縄問題連続学習会

参加型システム研究所

- ・ 沖縄問題連続学習会
- ・ 講師：滝本匠さん（琉球新報東京支社報道部長）
- ・ 日時：1月30日（水）10：00～12：00
- ・ 場所：オルタ館 301 会議室
- ・ 参加費：500 円（会員無料）

*準備の都合がありますので、お申し込みをお願いいたします。

（特非）参加型システム研究所

〒231-0006 横浜市中区南仲通 4-39 石橋ビル 4F

Tel.045-222-8720 Fax.045-222-8721

URL <http://www.systemken.org>

● -----
神奈川ゆめ社会福祉財団

なんとかしよう！子どもの貧困

【日時】2019年2月15日（金）15：00～17：30（開場 14：30）

- ・ 講演会：湯浅誠氏「なんとかしよう！子どもの貧困」
- ・ 事例発表：地域における子どもの居場所づくりについて（校内カフェの取り組み等、実践報告）

【会場】・ 崎陽軒本店 会議室（横浜市西区高島 2-13-12 崎陽軒本店 6 階）

【参加費】・ 無料

【定員】・ 110 名（応募者多数の場合は抽選）

<申し込み方法> 下記 1～3 のいずれかの方法でお申込みください。

1. 申込みフォームでお申込み

こちらから申し込みください。

<https://kanagawa-s.or.jp/yuasamakotomousikomi/>

2. お電話でお申込み

0120-900-634（9：00～17：00 土・日休）

3. メールでお申込み

お名前、ご住所、電話番号、参加人数を明記の上、下記アドレスにお送りください。

yume@kanagawa-s.or.jp

一般財団法人神奈川ゆめ社会福祉財団

事務局長 余 泰順

住所：〒222-0033 横浜市港北区新横浜 3-18-16 新横浜交通ビル 2F

TEL：0120-900-634/FAX：045-470-4178

URL：http://kanagawa-s.or.jp

Mail:yume@kanagawa-s.or.jp

●-----
全国アート NPO フォーラム 2019 in 八戸

「地域とアート」のこれからを拓く

「だから自分たちでつくる。」

全国アート NPO フォーラム 2019 in 八戸

「地域とアート」のこれからを拓く

2019年2月9日（土）・10日（日）

八戸ポータルミュージアム はっち（青森県・八戸市）

すべてのプログラムは参加無料です

平田オリザ・加藤種男・小林眞・宇野重規

各地で文化芸術活動を展開するアーティストやグループ

八戸工業大学創生デザイン学科

1998年の通称「NPO法」制定から20年が過ぎました。この間、法人であるかどうかにかかわらず、全国各地で市民やアーティストが集い、さまざまなアイデアに満ちたアートの現場づくりがなされました。時を同じくして、アートプロジェクトや芸術祭といった、それまでは一般的でなかった形式での大小無数の展開が全国に起こり、現在も多くの人々を巻き込む状況となっています。また、メセナ活動も定着し、地場の文化を自ら支えることを経営理念に掲げる企業も増えつつあります。

「全国アート NPO フォーラム 2019 in 八戸」では、これらの活動を推し進めてきた人々、アーティスト、市民、企業、行政などが、垣根を越えて集い、活動の真意を伝えあうことを通して、『地域とアート』のこれからを拓きます。地域の魅力を発掘・発信し、市民みんなでつくる複合文化施設として、2月11日に開設8周年を迎える「八戸ポータルミュージアムはっち」をはじめ、地方都市の特性を活かした多様なプロジェクトを官民で展開している、青森県八戸市で開催するものです。全国のみなさんのご参加を心よりお待ちしております。

*全プログラム入場無料となります。

入場は事前予約優先となりますので、下記アドレスまで申し込みのご連絡をお願いいたします。

artnpo.hachinohe@gmail.com (アート NPO リンク担当)

【開催スケジュール】

●2/9 (土) 13:10~18:30

◎ 13:10~15:00

トーク1「市民／芸術文化／地域経済」

平田オリザ氏 (劇作家) × 加藤種男氏 (クリエイティブディレクター)

コメンテーター 小林眞 (八戸市長)

会場：1階はっちひろば

◎15:30~18:30

プレゼンテーション「地域／伝統／アート」

全国のグループによる活動事例発表

司会 皆川俊平氏 (八戸工業大学講師／アーティスト)

今川和佳子氏 (アートコーディネーター)

会場：1階はっちひろば

●2/10 (日) 10:30~17:00

◎10:30~12:00

トーク2「だから、自分たちの文化をつくる」

宇野重規氏 (東京大学教授、政治思想史・政治哲学)

会場：1階はっちひろば

◎12:30~15:00 分科会

1. 12:30~13:30

「八戸のアカルイミライを考える」学生による地域デザインプロジェクト

コーディネート：八戸工業大学創生デザイン学科

会場：5階 共同スタジオ

2. 13:30~15:00

「いま、アートを取り巻く問題とは何か」

コーディネート：アート・アンド・ネットワーク

会場：1階 シアター1

3. 13:30~15:00

「ネットワークの先にあるものは何か」

コーディネート：アート NPO リンク

会場：1階 はっちひろば

◎15:30~17:00 クロージング

公開会議 ～参加者、来場者とともに～

「これからの『地域』と『アート』」

会場：1階はっちひろば

登壇者 プロフィール

平田 オリザ（ひらた おりざ）

加藤 種男（かとう たねお）

小林 眞（こばやし まこと）

宇野 重規（うの しげき）

■主催

八戸市（八戸ポータルミュージアム はっち）

特定非営利活動法人 アート NPO リンク

■企画・制作

特定非営利活動法人 アート NPO リンク

一般社団法人 アーツグラウンド東北

アート・アンド・ネットワーク

■協力

八戸工業大学創生デザイン学科

当事業は、八戸ポータルミュージアムはっち開館8周年記念事業です。

2019年2月11日ではっちは開館8周年

八戸ポータルミュージアムはっち

〒031-0032 青森県八戸市三日町 11-1

TEL.0178-22-8228 FAX.0178-22-8808

E-mail hacchi@city.hachinohe.aomori.jp

アクセス

〈バス〉八戸駅東口から八戸市中心街方面行き約25分。

「八戸中心街ターミナル（八日町）」下車すぐ

〈鉄道〉八戸駅からJR八戸線「本八戸駅」下車徒歩約10分

〈車〉八戸駅から車で約20分

〈航空機〉三沢空港から八戸市内シャトルバス約55分

〈フェリー〉八戸港フェリーターミナルから車約15分

【募集】

とびラー募集

東京都美術館×東京藝術大学

「とびらプロジェクト」は東京都美術館と東京藝術大学が連携して行っているソーシャルデザインプロジェクトです。人と作品、人と人、人と場所をつなぎ、美術館に集まる多種多様な人々とのコミュニケーションを大切に、そこから創出される新しい価値を社会に届けることで、アートを介したコミュニティを育んでいきます。今年も活動の主体となるアート・コミュニケーター（とびラー）を40名募集します。東京都美術館と東京藝術大学と共に、あなたもアート・コミュニケーター（とびラー）として活動に参加してみませんか。「とびラー」の活動は、学芸員や大学の教員、そして第一線で活躍中の専門家を中心としたプロジェクトチームがしっかりとサポートしていきます。

応募条件：詳細は確認してください。

活動条件：詳細は確認してください。

活動場所：東京都美術館および、東京藝術大学など。

応募方法：詳細は確認してください。

講座内容

基礎講座

メール： q-tobira@tobira-project.info

問い合わせ： Tel: 03-3823-6921（東京都美術館 アート・コミュニケーション事業）



パブリックリソース財団

「あい基金」

「あい基金」は、女性が自らの意志で人生を選択できる社会をつくることを目指し、2015年に設立した基金です。

女性たちが中心となって、資金や資源を持ち寄ることで、地域社会をリードする女性を応援していく”日本初の女性のための草の根基金”です。

2016年より地域で活躍する女性を応援するため助成事業を行っております。

本年度も東日本大震災の被災地において、女性が中心となって取り組む、女性の生業づくりや地域づくりの活動を応援します。

募集要項等の詳細はこちらをご覧ください。

http://www.public.or.jp/ifund/news/dt_31.html

応募締め切りは「1月31日（必着）」です。



神奈川ゆめ社会福祉財団

奨学生募集

一般財団法人 神奈川ゆめ社会福祉財団

高校生を対象とする「第2期神奈川ゆめ奨学生」の募集。

高校生を対象とする「第2期神奈川ゆめ奨学生」の募集を開始いたしました。

神奈川ゆめ奨学金の募集要項は次のとおりです。

◆趣旨◆

神奈川ゆめ奨学金は、学ぶ意欲がありながら経済的理由により修学が困難な生徒に対して、奨学金を給付するとともに、社会の中で自分らしい生き方を実現できるための学びや体験の機会を、地域で活動している人、団体、行政などと広く連携・協同してつくり、応援することを目的とします。

◆特色◆

神奈川ゆめ奨学生の特色は次のとおりです。

- (1) 奨学金は給付とし、返済の義務はありません。
- (2) 困った時には気軽に相談できる「相談ダイヤル」があります。卒業後も相談できます。
- (3) さまざまな学びや体験の機会に参加できます（交通費等支給あり）。

◆応募資格◆

奨学生となるためには、次のすべての要件を満たす者でなくてはなりません。

- (1) 神奈川県内に在住している方。
- (2) 神奈川県内の高等学校(全日制課程、定時制課程)、中等教育学校※1の後期課程に次年度から進学する方。
- (3) 市町村民税所得割額が非課税世帯の方。
- (4) 当財団が企画するサポート活動等に参加する意思のある方。

◆応募書類について◆

- (1) 応募書類一式は、ホームページ(下記)からダウンロードできます。
- (2) 応募書類の郵送を希望される方は、申込みフォーム、お電話(0120-900-634)でお申し込みください。

◆採用予定人数◆

10名程度

◆奨学金の額及び期間と給付の方法◆

- (1) 奨学金の額
月額 10,000円
- (2) 奨学金給付の期間
給付期間は最長で4年間。原級留置の場合も通算します。
毎年4月に在学証明書及び前年の世帯収入を証明する書類を提出することで継続します。

(3) 卒業お祝い金

50,000 円

◆応募方法◆

「神奈川ゆめ奨学生申請書」に必要事項をご記入の上、
期日までに必ず簡易書留にて事務局あてに郵送してください。

応募用紙の請求方法

(1) 2019年3月31日までに「神奈川ゆめ奨学生申請書」と「提出書類」を一緒に、
簡易書留に

て下記の送付先にご提出ください。応募書類は、ホームページからダウンロードできます。

(2) お電話、Eメール（ホームページから）にて応募書類の受付も行っています。

応募書類の提出締切日

2019年3月31日（日）必着で、下記の送付先に簡易書留にてお送りください。

書類の送付先及びお問い合わせ先

一般財団法人 神奈川ゆめ社会福祉財団

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 3-18-16 新横浜交通ビル 2 F

パルシステム神奈川ゆめコープ内

TEL：0120-900-634（月～金 10：00～17：00）

FAX：045-470-4178

Eメール：yume@kanagawa-s.or.jp



※郵送でいただいた情報らびつとにゆうずに掲載

させていただきますが、らびつとにゆうず掲載希望の情報は
できるだけメールで送っていただければ助かります。

らびつとにゆうず掲載希望情報送り先

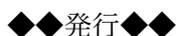
office@alice-center.jp

よろしく申し上げます



○アリスセンターは、市民と地域社会の自立を目指し、市民がまちづくりの主体
となるための実践や政策提言を支援しています。市民活動の情報、NPOの政策提
言づくり、NPOや企業、行政の協働などに取り組んでいます。

<http://alice-center.jp/wp/>



特定非営利活動法人 まちづくり情報センターかながわ（アリスセンター）

〒231-0001

横浜市中区新港 2-2-1 横浜ワールドポーターズ 6F NPO スクエア

TEL：045-212-5835（留守番電話です）

E-mail：office@alice-center.jp

発行人：内海宏 担当：菅原敏夫